

「中古住宅市場活性化ラウンドテーブル」の開催について

1. 開催趣旨

中古住宅流通に携わる民間事業者等のいわゆる実物サイドと金融機関などの金融サイドが、自由で率直な意見交換を通じて、中古住宅市場の活性化や拡大に向けた基本的方向や取組課題を共有することを目的として、不動産事業者、金融機関、住宅金融支援機構等の中古住宅流通市場関係者等の参加を得て「中古住宅市場活性化ラウンドテーブル」を開催する。

2. 議論の内容

- (1) 中古住宅の建物評価改善等の取組を中古住宅流通市場と金融市場に定着させるための方策
 - ① 今後策定予定の新たな建物評価手法の策定に当たって必要な改善点
 - ② リフォーム等による建物価値の向上を新たな建物評価手法に反映させる方法
 - ③ 新たな建物評価手法におけるインスペクションの活用方策
など
- (2) 高齢化・ストック社会を見据えた中古住宅関連金融商品のあり方
 - ① 新たな建物評価手法の導入等を踏まえた新たな金融商品の可能性
 - ② 戸建賃貸住宅市場の拡大・活性化を踏まえた金融ビジネス拡大の可能性
 - ③ リフォームローン、リフォーム一体型ローンに関する事業者（リフォーム業者、金融機関）間連携の可能性
など
- (3) その他ラウンドテーブル参加者が提起する取組課題

3. 今後の進め方

ラウンドテーブルは、平成 25 年度及び平成 26 年度の 2 カ年度にかけて開催する。

ラウンドテーブルの議論は、自由で率直な意見交換を目指すものであるが、議論の過程で有意かつ実施可能な提案・意見が出た場合は、関係者間で速やかに実行に移すことを検討する。

なお、各年度末に、議論の概要を記載した報告書を取りまとめる予定。